

出前講座 「介護保険制度とサービス利用について」

講師: 守山市中部地区地域包括支援センター 所長 山口 勉さん

7月30日に守山市中部地区地域包括支援センター所長の山口勉さんを講師にお迎えし、上記のテーマで出前講座を開催しました。

高齢化社会の中で、今後、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の増加が見込まれます。今回、山口さんから介護サービスの流れを教えてくださいました。



山口 勉さん

介護サービス利用までの流れ



お困りごと、お悩みがあれば気軽に守山市中部地区地域包括支援センターに相談してください

＜介護や健康のこと＞

- 介護保険の申請を頼みたい
- 介護に関する相談がしたい
- 認知症に関する相談がしたい

＜権利を守ること＞

- 悪質な訪問販売の被害にあった
- 財産管理に自信がない
- 虐待の疑いがある など

＜さまざまな相談ごと＞

- 近所の一人暮らしの高齢者が心配
- サービス事業者に不満があるが、直接言いつらい
- 近所にあるサロンや体操クラブを知りたい など

守山市中部地区地域包括支援センター
(すこやかセンター2階)
電話 077-584-5519

【9、10月の主な行事】

月	日	曜日	行 事	場 所 等
9	4	日	玉津学区防災訓練 6:45	地域総合センター周辺
	11	日	お湯上げ 10:30	若宮神社、天満宮
10	2	日	消防点検 7:30	
	9	日	花苗植替	
	22	土	学区民のつどい	地域総合センター
	23	日	学区民大運動会	地域総合センター

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止、変更する場合があります。



第4回 赤野井歴史探訪講座 「歴史探偵赤野井ミステリー」

8月11日に赤野井自治会館で「赤野井歴史の会」主催の赤野井歴史探訪講座が開催されました。

まず会員さんから「再発見！徳川慶喜追討令の高札の考察」と題して、高札の説明や時代背景、内容、

設置場所等についての報告がありました。

続いて文化遺産プランニング代表の井上ひろ美さんから「幕末から明治初期にかけての赤野井のすがた」についてのお話がありました。



高札とは「こうさつ」とか「たからだ」とかと読まれ、昔テレビも新聞もインターネットもない時代、幕府や朝廷、あるいはその土地の領主（権力を握っていた人）が民衆に大事な事柄を伝えるために使ったものです。

9月1日は『防災の日』

防災の日が9月1日に制定されたのは、9月1日が関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあり、また、1959年の「伊勢湾台風」によって、戦後最大の被害を被ったことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されました。

災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう！～

- 家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
- 備蓄品 食料や水（最低3日分！できれば1週間分）×家族分
生活用品：例えばティッシュ、トイレトーパー、ラップ、ごみ袋
ポリタンク、携帯用トイレ など
- 非常用持ち出し袋の準備・・・飲料水、食品（レトルト食品、チョコ、乾パン など）、救急用品、ヘルメット、懐中電灯、携帯電話の充電器、衣類、下着、貴重品（通帳、現金、病院の診察券、運転免許証 など）タオル、ウェットティッシュ、洗面用具、軍手 など

「守山市防災マップ」(P31) 等 参照

